

令和2年度「長崎県教育委員会服務規律強化月間」実施結果報告書

所属名	佐世保市立日宇小学校		作成者	職名	教頭
電話番号	(0956) 31 — 6904			氏名	野崎 一男
1 年間の実施内容（取組状況・実績等）					
4月	実施テーマ	<ul style="list-style-type: none"> ・児童と教師の信頼関係の構築 ・職員のコンプライアンス意識の高揚（体罰・わいせつ・セクハラ防止） ・飲酒運転の根絶 			
<u>取組の評価・改善点</u> <ul style="list-style-type: none"> ・年度当初に不祥事根絶について全職員へ指導を行い、共通理解を図った。 ・体罰根絶については紙媒体での資料を配付し、体罰によらない指導について確認した。 ・感染症拡大防止のため飲酒の場を控えるとともに、飲酒後は、絶対にハンドルを握らないよう確認した。 ・職員の理解と協力で、強化月間だけでなく、不祥事根絶の取組ができています。 					
7月	実施テーマ	<ul style="list-style-type: none"> ・セクハラ、わいせつ行為の禁止 ・公金不正処理の防止と情報セキュリティ対策の徹底 ・飲酒運転の根絶 			
<u>取組の評価・改善点</u> <ul style="list-style-type: none"> ・「自己分析チェックシート」を実施し、不祥事行為による社会的責任や経済的責任等を伝えることで、慎重に行動しようとする職員の意識が高まった。 ・ノー残業デーの実施を進め、メンタルヘルスの保持につながる取組を継続した。 ・ICT支援員による研修会を実施し、具体的な情報セキュリティ対策を学ぶことで、さらに情報を慎重に取り扱おうとする意識が高まった。 ・長期休業前の会計の考査は、隣接学年で確実にいき、正確に処理することができた。 					
12月	実施テーマ	<ul style="list-style-type: none"> ・飲酒運転の根絶 ・公金不正処理の防止 ・体罰禁止 			
<u>取組の評価・改善点</u> <ul style="list-style-type: none"> ・佐世保警察署による専門機関の方による研修は、職員にとって深く学ぶよい機会となった。今まで以上に、安全運転を心がけようとする意識が高まった。 ・体罰防止に向け、指導方法等の共通理解を図ることができた。 					
2 服務規律委員会					
委員会名	服務規律委員会				
構成員	所属内委員（5名 構成員：校長、教頭、教務、保健主事、養護教諭） 外部委員（4名 役職等：学校評議員 PTA会長）				
3 年間を通しての計画の達成状況					

年間を通しての取組状況チェックリスト

- (1) 校内研修の実施方法については、職員会議等での管理職員からの指導のみではなく、別表のような工夫を取り入れながら研修内容の充実を図ることが求められます。取り入れた工夫を別表の記号（ア～コ）で回答ください。（複数回答可）

ア	イ	ウ	オ	キ					
その他（ア～コ以外で研修に取り入れた工夫があれば記入ください。）									

- (2) 不祥事根絶に向けた職員の意識が維持・継続されるような心に届く取組ができたか。
※ 該当する項目に○を記入ください（以下同じ）。

(○) できた	() 概ねできた	() 少し不十分	() できなかった
---------	-----------	-----------	------------

- (3) 職場の連帯強化と働きやすい職場環境づくりに繋がるような取組ができたか。

() できた	(○) 概ねできた	() 少し不十分	() できなかった
---------	-----------	-----------	------------

- (4) 心と性に関する自己分析チェックシートは正直に回答できる環境下で実施されたか。

() できた	(○) 概ねできた	() 不十分だった	() 実施してない
---------	-----------	------------	------------

資料添付 有 ・ (無)

別表 校内研修の工夫（学校のチーム力を高めるために（H23.3）から）

校内研修をより効率的・効果的に実施するためには各学校の実態等に合わせて実施内容や時期を定めて計画的に取り組むことが大切です。

校内研修の実施方法については、職員会議等での管理職員からの指導のみではなく、以下のような工夫を取り入れながら研修内容の充実を図ることが求められます。

【工夫（例）】

ア 運営の工夫

- ・管理職員の指導中心の研修から、サービス規律委員会が主導して運営する研修に運営方法を変える。

イ 具体的な事例の紹介

- ・県内で起こった事案や他県での類似の事案など、具体的な事例を用いる。

ウ 外部講師を招いての講話

エ 体験的な研修

- ・ロールプレイを取り入れる。

オ グループ討議

- ・小グループに分かれての事例研究、討議を行う。
- ・「ヒヤリ・ハット」した体験や普段から心掛けていること等を発表し合う。

カ ワークシートの作成

- ・何が原因か、不祥事を起こした場合の影響、未然に防止するための方法等を記述する。

キ チェックリストを作成

- ・チェックリスト（アンケート）を用いて自己点検を行う。

ク ファイリングして保存

- ・各教職員が通知文や研修用資料をファイリングして活用する。

ケ 決意表明

- ・全教職員連名の決意表明文又は個人ごとの宣誓文を作成する。

コ 職場の連帯意識の醸成と働きやすい職場環境づくりに繋がるような取組

- ・川柳や標語を募集して主体的な取組となるよう工夫する。